



おしゃべりカフェ 「さいたまの医療第1回『認知症』について」

7月15日、土合公民館で、「さいたまの医療第1回『認知症』について」のおしゃべりカフェを開催しました。参加者は15名。1年ほど前まで看護師として訪問看護を行っていた桜区在住の加隅さんのアドバイスを聞きながら、認知症についてそれぞれの意見や感想、経験を述べ合いました。自らのお母さんの認知症と介護について話してくれた北川さんに、その時のお話をまとめていただきました。

86歳の母が認知症かも？と思ったのは3年前です。歩行困難になる病気の手術が巧くいかず、その後2度転んで左右大腿骨を骨折し自分の足で殆ど歩けなくなりました。

1分毎に母が「教の晩ご飯は何？」と質問し、私が「忘れちゃったの？」と聞くと、困った顔で笑うという事が増えた頃に何か変だと思いました。その後も隣のマンションの廊下を歩く人が娘の私だと言い切ったり、お風呂に入ったと嘘ついたり、日時がわからなくなったり、薬を順に飲めなくなったり、夜中に家中のドアをノックしては開けて確認する作業を何回も繰り返したり、「田舎のおばあちゃんに会いに行く」と言って出かけようとしたりしました。

私は毎日実家に通っていましたが、

だんだんと失禁が多くなり、一人で立ち上がる事も難しくなり、二人暮らしの高齢の父は大変だったと思います。そのうちに近づく怖がるようになり、攻撃的になったので薬を調整して貰うと、今度は無気力になり口から食べられなくなってしまいました。入院して点滴し薬をやめたら戻りました。

ケアマネさんと相談し福祉用具、訪問リハビリ、デイサービス、ショートステイ等を利用し在宅介護をしていましたが、私自身の体調の事もあり半年前から施設に入所しています。家族は頑張り過ぎず、心身の健康を考えてサービスを利用しなくてはと思います。

認知症の予防は食事、運動、脳トレ、他者との交流があげられますが、

◎次回の「市民講座」のご案内

「アベノミクスを斬る」 講師：伊藤おさむ先生（埼玉大学）

日時：9月28日（土） 2時～（開場1時30分）

会場：土合公民館 2F 講座室

そう考えると母は私達の話をついつも聞いていて、自分はあまり話さなかったし、ここ数年自分の足で歩けていませんでした。

薬は母の様に無気力になる場合もあるので副作用にいつも気をつけて医師と話し合う事が大切だと思います。

認知症がどんな病気なのか想像するだけでは不安になります。私は少

し変だなと思った時に「認知症サポーター講座」を受講しました。知る事で不安は少し取り除かれ母への対応に役立ちました。

母がいつか「私ね、頭がおかしくなってきたみたい」と困り顔で言ったことがあります。忘れてしまったり混乱したりして本人が一番辛いのです。困っている本人に寄り添うことができればなぁとおもいます。

「住み慣れた地域で、自分らしく最期まで暮らせる」 みぬまハウスの活動紹介

認知症になったらどうすればいいのだろう？

通院しなくてはならないのに、運転免許証を返納してしまったのだけれど。介護の毎日が続けていけるのだろうか？

高齢になった時のことを考えると、いろいろと心配が尽きません。見沼区に、「住み慣れた地域で、自分らしく最期まで暮らせる」を目標に活動している「NPO法人みぬまで暮らす会」があります。その活動を紹介します。

「NPO法人みぬまで暮らす会」は、「住み慣れた地域で、自分らしく最期まで暮らせる仕組みをつくろう」と、「見沼区福祉マップ」づくりで出会った仲間たちで立ち上げた会です。話し合いや先進地の視察などを重ねながら、地域の居場所「みぬまハウス」を開設し10年になりました。歌声喫茶や健康マージャン、100歳体操などクラブ活動も活発で、会員同士の交流・情報交換も盛んに行なわれています。地域の居場所としてすっかり定着しました。さいたま市から介護者カフェも受託し、介護相談にも応じています。会を支える会員は170人となりました。

「みぬまで暮らす会」のコンセプトは、「見沼区で暮らすひと同士が助け合い、支え合って、最期まで住

み慣れた自分の家で暮らす」。そのために何が必要なのか、どんな仕組みがあれば可能なのか、みぬまハウスの活動を通して考えてきました。その結果、現在、3つのサービスを提供しています。

1つは、「生活支援サービス」。サービスの受け手もサポーターも会員同士で、院内介助など介護保険が使えない支援を提供しています。2つ目は、「移送サービス」。会員向けサービスで、加齢や障害などで外出が困難な方に自動車による移動支援を行なっています。3つ目は、「訪問介護サービス」。介護保険事業所として、ホームヘルパーによる身体介護、生活援助サービスを提供しています。

財政基盤や担い手など課題も少な

くありませんが、「歳をとっても障 最期まで自分らしく」をめざして活
害があっても、住み慣れた地域で、 動しています。

参議院選挙の結果から 不信感や閉塞感を超える政治の実現を求めて

7月21日投票の参議院選挙の結果は、自民・公明が過半数を超え、全体的には変わり映えしないものでした。確かに、自民、公明、維新などの改憲勢力が160議席となり3分の2の164議席に届かなかったことも指摘されましたが、たった4議席です。今後、与党側からの切り崩しも可能な議席数で、政治構造が大きく変わったということはありません。

そんな中で注目されたのは「NHKから国民を守る党」（以下「N国」）そして「れいわ新選組」（以下「れいわ」）が政党要件を満たし、政党となったことです。

今回の投票率は48.8%で、国政選挙としては戦後2番目に低い結果です。それは、生活は苦しいけれど政治は何も解決してくれないという不信感、そして、安倍政権をよしとはしないが、野党共闘も大胆には進まないという閉塞感からではないかと思うのです。

私自身もこれまでの政治的な慣例に則った手法では、それぞれの国民が抱えている多くの問題を根本的に解決できるとは思えない、というのが実感です。

そういう状況下で新しい政治のあり方を期待され、一定の支持を得たのが「N国」及び「れいわ」だったのだと思います。

しかし、「N国」と「れいわ」は、全く違った方向性を持っています。いわゆる「YouTuber」（ユーチューバー）の感覚で話題になることなら何にでも飛びつく「N国」代表の立花隆志氏。TOKYO MXの「5時に夢中！」で、マツコ・デラックスが「N国」に対し「これから何をしてくれるか判断しないと。今のままじゃね、ただ気持ち悪い人たち」等、発言したことに激怒して、スタジオに突撃したことが話題になっています。

「れいわ」の代表山本太郎氏は、比例候補者最高の99万票以上を取りながら落選しましたが、ALSという難病をかかえる舩後靖彦氏、重度障害の木村英子氏を国会に送り込みました。私たちに、当事者が政治に直接関わり政治を変えていくという手法を見せつけています。

天と地ほどの違いがある「N国」と「れいわ」です。国民ひとりひとりをどう見ているのかという点から二つの政党を見れば、それは明らかです。これからも「N国」と「れいわ」の動きを追って、判断していきましょう。（小高）



切り抜き帳



【福島原発】

「東京電力は6日、福島第一原発2号機で、水素爆発を帽子するために原子炉格納容器に注入している窒素が約30分止まるトラブルがあったと発表しました。東電によると、2号機に窒素を入れる設備の増設作業中に、窒素を送る配管

の弁をすべて閉じた状態にした。本来開けておくべき弁だったが、表示タグが間違っていた。表示タグは原発事故後に配管を設置した時から間違っていた。」（東京新聞 8月7日）

格納容器では、溶け落ちた核燃料などが発する放射線で冷却水などが分解されて水素が発生し続けています。水素が充満すると事故後に起こったのと同じ水素爆発を起こす恐れがあるのは素人にもわかること。それを防ぐための窒素注入を間違えて止めてしまうとは。あの水素爆発がどんな被害を人々にもたらしたのか。それなのに、この初歩的ミス！！しかも8年以上の放置！！ 東京電力には、原発を扱う資格はありません。

【沖縄新基地建設】（『琉球新報』の記事より）

「【7月29日】沖縄県名護市辺野古の新基地建設で、沖縄防衛局は米軍キャンプシュワブ沿岸部の埋め立て作業を継続。運搬船3隻が海上から搬入した土砂を台船へ移し替えK8護岸やK9護岸へ陸揚げする作業が確認された。海上では建設に反対する市民らが抗議行動。カヌー10艇がフロートを超えて抗議した際、海上保安官に一時拘束された。」

「【7月30日】ドイツを拠点に国際的な軍備縮小を求める平和運動団体「国際平和ビューロー」のラナ・ブラウン共同代表がシュワブのゲート前を訪問。「皆さんの行動は世界中に勇気を与えている」と座り込みの抗議をする市民らにエールを送った。さらに「ノーベル平和賞の受賞者を沖縄に連れてくる。私ができる小さな貢献だ」と語った。

【会の活動報告】

7月15日（月） おしゃべりカフェ「認知症について」

運営スタッフ会議

8月15日（木）～17日（土） 原爆絵画展

8月23日（金） 運営スタッフ会議

【これからの予定】

9月28日（土） 市民講座「アベノミクスを斬る」

講師：伊藤おさむ先生（埼玉大学）

日時：9月28日（土）2時～（開場1時30分）

海上：土合公民館 2階 講座室

運営スタッフ会議 5時～



桜区平和を考える会発行

ホームページは、「桜区平和」で検索！

<http://spa.g1.xrea.com/>

連絡先：090-8588-4966（今井） 090-4433-7092（小高）

090-6120-3411（佐藤）

振込口座：ゆうちょ銀行

口座番号：00270-8-104990

加入者名：桜区平和を考える会

年会費：1,000円

振込手数料はご負担ください

会員募集中！
カンパ歓迎

